

令和6年度 第4回 大府市文化財保護審議会会議録

日時：令和7年3月7日（金）

午後1時30分～午後2時45分

場所：歴史民俗資料館 会議室1

[出席者]（委員）伊藤啓信、西尾一、館内三郎、花井しおり、中井良岳、小早川道子、
池田ちか、小野幸恵

（事務局）近藤館長、鷹羽、塚野、水谷、内藤

[欠席者] 見田隆鑑、武部真木

[傍聴者] 0名

1. 開会

2. 会長あいさつ

石造物調査を始めているが、既に無くなっているものがある。

3. 議題

(1) 令和6年度事業実績報告

歴史民俗資料館事業実績 (資料1)

文化財保護事業実績 (資料2)

大府市文化財保護審議会活動報告 (資料3)

事務局より資料を一括説明

追加説明 吉川獅子屋形の墨書（建造年）再発見について

委員) 企画展示室の展示は人を呼べるような内容になってきた。常設展示室1階の展示内容も動きがあり活用ができていますが、2階常設展示室についてはあまり動きがみられず、バラバラした展示の印象を受ける。簡単ではないと思うが展示方法に工夫し、予算を付け、充実を図ってほしい。

委員) 休憩棟の押入れ付近の床下について、朽ちた柱もあり、かなり傷んでいるようだが、その他の箇所は大丈夫なのか。きちんと調査をして、修理が必要ならそのように対応してほしい。

(2) 令和7年度事業計画

歴史民俗資料館事業計画 (資料4)

文化財保護事業計画 (資料5)

大府市文化財保護審議会活動予定 (資料6)

知多地方文化財保護委員会について (資料7)

事務局より資料を一括説明

追加説明 町史市誌デジタル化及び公開について

防火訓練は横根藤井神社とする

委員) 大高南小学校の見学受け入れのように、市外からの見学も増えるとよい。

委員) 名古屋市は、博物館閉館中のため見学先に困っている。大府市歴史民俗資料館を案内するとよい。

委員) 小学校見学の際には、昔の道具を触らせてほしい。また、学校に昔の道具の貸出を行い、子どもたちが実際に触れることができるよう学校を支援してほしい。

事務局) 小学校見学の際には、実物に触れる機会を設けている。

(3) 文化財指定について

大府市指定文化財候補について

(資料8)

事務局より別添「大府市指定文化財新規指定候補概要」に基づき説明

① 吉川熊野神社旧拝殿

② 半月七社神社

事務局) 吉川は皇室技芸員伊藤平左衛門9世、半月は8世が手掛けた建築である。市指定にこだわらず国登録有形文化財も視野に入れて調査をしてはと専門家の助言を得た。7年度予算で調査を行い、所見執筆を依頼予定である。

③ 三山道中記

事務局) 江戸時代の大府の文化を示す数少ない資料で、本年度、立山博物館の企画展に貸し出しもした。研究をしている立山博物館学芸員に所見執筆を依頼予定である。

④ 米田の常夜燈

⑤ 半月の常夜燈

事務局) 石造物調査と同時進行して調査を進め、所見を執筆していきたい。

⑥ 蔵福寺阿弥陀三尊

事務局) 天和2年(1682)の銘と奉納者の墨書があるが、年代は新しい。仏像の指定基準づくりについては未着手である。見田委員からの文化財指定についての考え方を紹介するとともに、指定についてはいったん保留としたい。

⑦ 普門寺阿弥陀如来坐像

事務局) 見田先生の所見を紹介。指定に向け関係者の意向を確認していきたい。

委員) 仏像指定の年代の線引きをどうするか課題である。廃寺になってしまうと、地域の仏像が他市町に流出してしまうおそれもある。大府という地域における貴重な資料が出て行ってしまふことを防ぐ手立てとできないか。

委員) 町史に大日堂からの歴史が書かれている薬師寺は、昨年廃寺となり地藏堂以外は更地となってしまった。

委員) 北崎の常夜燈は道路に面していたため動かされ、山神社の片隅に処分されている。今後どうなっていくのか心配している。

委員) 常夜燈については、米田・半月よりももっと古いものがあるが、それより先に指定してよいのか。指定の目的は、文化財的価値なのか保存なのか。

委員)常夜燈については古いものも含めて指定について考えていくこととする。
事務局)指定については、調査、所見執筆を進め、指定が適当なものについては、次回以降の会議で提案していきたい。

(4) 大府市史の編さんについて

事務局より「市史編さん基本方針」について資料に基づき説明

委員)市史編さんにあたって、市民の古いアルバム写真を収集するとよい。日進市のよ
うに広報等で募集すると、ひな祭りや何気ないスナップに貴重な情報が残されている。
市史以外でも資料館の展示などで役立つのでぜひ収集を。収集の際は、目的を示し使用
に関する許可を取っておくとよい。

4. その他

委員)庚申講について、継続が困難になった地区の市民から、資料館に
関係資料の取り扱いについての相談があった。

委員)地域住民の横のつながりがなくなり、昔ながらに集まって行
うところがどんどん減少し、軸や道具も寺に預けられている。風習として記録を残しておく
べである。

委員)このままでは散逸してしまう。

委員)市誌にも記述があり、とても興味深く読んだ。

委員)軸などは散逸しないよう資料館でもらって保存し、庚申講がど
のように行なわれ、道具がどのように使われたかを記録しておく
とよい。

以上